

岩本建設通信

木は『心』
～木は未来を支える～



☆発行☆

2016年5月号 第39号



有限会社 岩本建設

〒985-0813

宮城県宮城郡七ヶ浜町湊浜
字砂山19-6

TEL : 022-357-4658

FAX : 022-357-4659

E-mail : k-iwamoto_x01@
pro.odn.ne.jp

H P : <http://iwamoto-kensetu.com/>

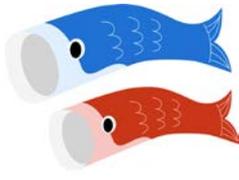
☆今月号のメニュー☆

- ・「七ヶ浜に続々とお店がオープン」
- ・建築お役立ち情報
- ・工事現場情報
- ・岩本博行のものづくり研究室
- ・今月のことわざ
- ・編集後記

★建築お役立ち情報★

【木造 床下地造作工事について】

さて、今回の建築お役立ち情報ですが、皆様のお宅の床の下地の木材や造作工事についてお話をしていきたいと思えます。床下がどのような状態になっているのか？また、どのような工事が適しているのか？工事の仕方はどれが正しいのか？色々と気になる所です。では、さっそくお話をしていきます。まずは写真を見てください。



【これから夏に向けて】

暖かい日々が続いております。気付けば5月になっておりました。今年には申年ともあり、年明けから忙しい日々を送っております。5月といえばGWですが、いかがお過ごしだったでしょうか？

『七ヶ浜に続々とお店がオープン』

さて、東日本大震災から5年が経過し、私どもの地元七ヶ浜町も復興が進み、ほぼ復活を遂げようとしております。今年に入って、七ヶ浜も盛り上がりを見せております。今年の3月には「七のや」というお店がオープンし、目玉となっている海鮮丼で多くのひとが訪れております。

そして、5月3日はカフェレストラン「SEA SAW」がオープンします。場所は菖蒲田浜海水浴場の元駐車場付近です。私達も工事でお手伝いをしたお店なので是非、お越しください。詳細は後程ご紹介いたします。盛り上がりを見せている七ヶ浜町です！



① 根太工法



②根太レス工法

これらの写真が主な床下地の状態です。主に2つの工法に分けられます。①根太工法と②根太レス工法といえます。根太レス工法は比較的新しい工法です。昔から伝わる工法は根太工法です。日本の住宅では根太工法のお宅が多いです。まずは、根太工法の方からお話をしていきます。

次ページへ続く←

【①根太工法】

●根太工法とは

まずは、昔から伝わる根太工法についてです。



上記の写真のような骨組みと
なっております。一定の間隔で木
材を並べて取付ておりますが、こ
れが根太と言われる部材です。木
材としては45ミリ角を使用し
ます。

材質は赤松を使用します。間隔
は30センチおきに設置してい
きます。和室の場合は45センチ
おきで洋室は30センチおきと
なります。しかし、現在では和室
であっても30センチ間隔で設
置することが望ましいです。

根太を支える部材を大引きと言います。大引きはツガ材（スケヤ）といって
90ミリ角を使用します。スケヤというのは防腐処理をしている木材をい
います。間隔は90センチ間隔です。そして、隅で支えている部材を掛とい
います。掛も赤松を使用します。90ミリ×30ミリのものを使用します。そ
して、この間にスタイロフォームという床専用の断熱材を設置します。

そして、上に合板（12ミリ）を敷き、床の下地工事は完了となります。

ただし、その前に大事な施工工程があります。それは防腐剤の塗布です。防
腐剤を床組材に塗布することでシロアリにも強い床下地となります。下記の写真
のように防腐剤を塗ります。床組と柱、土台、間柱と構造体の立ち上がりま
で塗ると対策はバッチリです。

←防腐剤を塗布している時の写真です。



↑このように柱、土台も一緒に塗っておきます。

この根太工法ですが、全てのお宅がこのような
木材を使ってきちんとした工事をされているかと
いったら、残念ながらそうでもありません。予算
がなかったのか？単なる手抜きをしたのか？

色々と考えられますが、**木材が細いものを使われ
ていたり、打つべき所に釘が打たれていなかった
り、ピッチ数が適当になっていたりとずさんな工事
が見受けられます。**

意外にも多いのです。

私達が工事のうえで大事にしているのが下地なのです。 女性も化粧の際に大切な下
地の段階があるように、**建築でも下地工事が大切なのです。** そして、最も大事な工事が
建築工事の7割を占める我々の大工工事なのです。**良い家になるかは大工に掛かっ
ているのです。**

構造体がいくら強くても下地工事がずさんであればちよつとした地震で壁に亀裂が入つ
たり、棚が落ちてきたり、壁がゆがんだり、そんな症状が出てくるのです。中には**神棚
が落ちたというお宅もあります。**

床だけでなく、天井、壁もその通り、下地があります。この下地工事がきちんとしてい
れば、仕上げの内装工事も綺麗に仕上がります。

以上が、根太工法となります。

【②根太レス工法】

続いて根太レス工法をご紹介します。工法の名前の通り、根太が無い工法です。床の下地が大引きのみで床を支える工法です。



写真の通りですが、根太が無く、大引き（90ミリ角スケヤ）で床組を支えます。床専用の断熱材をピンで支えて設置します。断熱材を設置し終えたら、下の写真の通り、床合板を敷いていきます。根太工法と違うのは、単なる根太が無いというわけではありません。

実は、この合板の厚みが24ミリあります。根太工法の12ミリと比べて2倍の厚みがあります。根太が無い分、合板を厚くして強化しております。今の新築工事では根太レス工法が普及しております。普及している理由は、一つに施工の速さにあります。

根太レス工法により、工期を縮めることが可能となりました。

しかし、私たちは根太レス工法だけでは頼りないので根太を一部に配置します。床のたわみが若干発生するからです。今の新築住宅のほとんどがこの工法です。今後は根太レス工法が一般的になっていくことでしょう。

木造床下地造作工事のまとめ：

今回は床組の下地工事についてお話をしてきましたが、いかがだったでしょうか？ 私たちは構造体はもちろんのこと、下地工事にも重きをおいております。床の工法について2つの工法があるとお話をしました。これからは根太レス工法がさらに普及していくかと思えます。

しかし、今の住宅で多い工法は根太工法です。私達はこの両工法を知っておかなければリフォーム工事は出来ません。古き良きを知るとい言葉がありますが、大工の道には本当に素晴らしい日本の技があり、知恵があります。日本にしか無い技なのです。この大工の技や知恵は伝えていかなければならないと思います。私達は日本人なのです。そのことは忘れてはいけません。

大工は家を建てるだけの工事が仕事だけではありません。家の設計もしますし、家相も知っていなければなりません。時には神事もします。屋根の事、水道の事、電気等の事等全てのことを把握しておかなくてはいけません。昔は棟梁という言葉が聞きましたが、棟梁とは設計もしますし、親方でもありますし、管理もする。これが本当の大工です。ところが、時代が変わり、棟梁と呼べる大工さんが減ってきています。今は大安吉日も関係なしに工事もしますし、本当に変わってきています。でも、私たちはこれからも長く伝承されてきた大工の知恵や技を大切にしていきたいと思っております。私達は、日本人であるということと、これからの時代を生き抜いていくためにも！

～工事現場情報～



【七ヶ浜にカフェレストランがオープン！】

さて、東日本大震災から5年が経過して、多くの人たちの協力もあって私達の地元、七ヶ浜も復興を果たそうとしています。今年は2月に入って「しちのや」というお店がオープンし、多くの観光客で賑わっております。そして5月には七ヶ浜にカフェレストランがオープンしました。お店の名前は「SEASAW」です。



この通り、私達もお店づくりのお手伝いをさせていただきました。こちらのお店は菖蒲田浜の海水浴場に面していて、海を近くに感じながらカフェを楽しむことができます。また、別棟には展望テラスがあり、海を眺めながらお茶を飲むことも出来ます。

ちなみに私はカレーランチを食べました。七ヶ浜の魚介を使ったシーフードカレーです。アサリで取ったダシが入っており、旨味が凝縮されて美味しいカレーでした。

また、お店は夜も営業しており、お酒も楽しむことが出来ます。夜は夜で素敵な空間となっております。是非、七ヶ浜に遊びにいらしてください。



七ヶ浜町が盛り上がっております！！

SEASAW

住所：七ヶ浜町菖蒲田浜字長砂20-8

●今月のことわざ

「飼う犬に手を噛まれる」

飼っている犬にあらうことか手を噛まれる。普段、面倒を見ている者から裏切りの行為を受けること。



【おもしろ雑学！】



『コーヒーを冷やして飲むのは日本人の発明だった。』

日本人にとってアイスコーヒーはポピュラーな飲み物だが、意外にも歴史は浅いです。

大正時代に日本人がコーヒーを冷やして飲み始めて、それが海外へと広まっていき、やがてヨーロッパやアメリカ社会へと浸透していった。いまや世界中で飲まれているアイスコーヒーの発祥地は日本だったのです。

編集後記

皆さんこんにちは！岩本建設通信の作成と編集を担当しております岩本祐樹です。

皆様、ご無沙汰しております。岩本建設通信の発行が滞り、申し訳ございませんでした。私事ではございますが、岩本建設通信を今後は年5回の発行とさせていただきます。皆様のお役に立つ情報をより良い物に、濃い物にしていきたいと思っております。

今後とも引き続き、岩本建設通信をよろしく願っています。

次号もお楽しみに。



～お知らせ事項～

次回予告

- ・ 建築お役立ち情報
- ・ 誰にでも分かりやすく教えます！建築用語！
- ・ 工事現場情報
- ・ イワモトクッキング
- ・ 今月のことわざ
- ・ 編集後記



イワケンくん

次号もおたのしみに！！